

道内 3 医育大学から「がん診療連携拠点病院」への医師派遣状況

1 令和 6 年度（2024 年度）各大学から「がん診療連携拠点病院」への医師派遣状況

【北海道大学】

診療科等名	派遣 病院数	派遣延べ人数（人）			備考
			常勤	常勤以外	
呼吸器内科	8	174	55	119	
内科Ⅱ	8	85	23	62	
消化器内科・光学医療診療部・腫瘍センター	10	128	38	90	
腫瘍内科	3	4	0	4	
循環器内科	7	43	0	43	
消化器外科Ⅰ	11	138	64	74	
消化器外科Ⅱ	7	65	50	15	
脳神経外科	4	18	15	3	
呼吸器外科	8	23	20	3	
心臓血管外科	6	54	12	42	
整形外科	11	123	40	83	
泌尿器科	12	123	30	93	
麻酔科	8	337	36	301	
形成外科	9	124	10	114	
脳神経内科	7	18	9	9	
精神科神経科	3	17	17	0	
眼科	5	57	11	46	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	7	132	24	108	
皮膚科	6	106	13	93	
産科・婦人科	12	254	57	197	
小児科	13	95	48	47	
放射線治療科・放射線診断科・核医学診療科	17	124	20	104	
その他	17	161	28	133	
計	19	2,403	620	1,783	
令和 5 年度実績	19	1,910	649	1,261	

【旭川医科大学】

診療科等名	派遣 病院数	派遣延べ人数（人）			備考
			常勤	常勤以外	
内科（循環器・腎臓／呼吸器・脳神経）	4	20	12	8	
内科学（内分泌・代謝・膠原病）	3	20	9	11	
内科（消化器／血液）	3	48	30	18	
小児科	2	32	11	21	
外科（血管・呼吸・腫瘍）	5	14	8	6	
外科（心臓大血管）	2	3	1	2	
外科（消化器／肝胆膵・移植）	3	5	3	2	
整形外科	2	12	5	7	
皮膚科	3	29	7	22	
泌尿器科	2	17	9	8	
眼科	8	35	15	20	
耳鼻咽喉科	4	26	12	14	
産科婦人科	2	8	5	3	
麻酔科蘇生科	5	24	13	11	

救急科	4	14		14	
リハビリテーション科	1	1		1	
形成外科	4	10		10	
腫瘍センター	2	2		2	
手術部（医師）	1	1		1	
病理部	6	14		14	
遺伝子診療	1	1		1	
国際交流推進センター	1	1		1	
計	15	351	151	200	

令和5年度実績

13

136

136

0

【札幌医科大学】

診療科等名	派遣 病院数	派遣延べ人数（人）		備考
			常勤 常勤以外	
病理部	6	7	0	7
病理学第1講座	7	8	0	8
病理学第2講座	6	8	2	6
遺伝医学	3	3	0	3
消化器内科	8	30	18	12
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	5	15	7	8
呼吸器・アレルギー内科	6	36	28	8
腫瘍内科	2	9	3	6
血液内科	1	2	2	0
脳神経内科	3	15	13	2
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	2	5	3	2
心臓血管外科	7	18	11	7
整形外科	5	28	13	15
脳神経外科	6	18	7	11
産婦人科	8	28	18	10
小児科	3	22	14	8
眼科	3	6	1	5
皮膚科	6	8	2	6
泌尿器科	3	13	9	4
耳鼻咽喉科	4	9	4	5
神経精神科	3	11	8	3
放射線治療科	4	14	5	9
麻酔科	8	58	41	17
総合診療科	3	4	2	2
救急医学講座	5	6	0	6
歯科口腔外科	3	6	1	5
形成外科学	3	11	7	4
放射線診断科	1	3	1	2
集中治療医学講座	1	1	0	1
呼吸器外科	4	7	3	4
分子医学部門	2	2	0	2
免疫制御医学部門	2	2	0	2
計	20	413	223	190

令和5年度実績

19

381

215

166

2 がん診療に係る医師派遣に当たっての課題等について

課題・問題点・意見等
<北海道大学> ・大学における研究志向の強い診療科からの医師確保が難しい。 ・派遣制度・財源の硬直性。 ・診療科で派遣先を集約しており、地方から撤退せざるを得ない状況。 ・医師派遣制度の確立のための財源調整役の存在が必要。 ・大学病院の医師とポストの絶対数の不足

がん診療連携拠点病院における診療医師数の実態調査結果

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

病 院 名	在籍医師数			医師定数	不足医師数		非常勤 等医師 数	医師定数を充たさない診療科
	A	がん診療医師数 C (内数)	占有率 (C/A) × 100		B - A	実数 C(※)		
独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	90	90	100.0	86	-4	2	2	呼吸器外科、リハビリテーション科
市立函館病院	106	46	43.4	136	30	30	0	血液内科、リウマチ科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、 脳神経内科、放射線科、放射線治療科、消化器外科、乳腺外科、 呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、 産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、形成外科、麻酔科、 精神神経科、集中治療室、病理診断科、緩和ケア科、健診センター
社会福祉法人函館厚生院函 館五稜郭病院	123	58	47.2	123	0	0	6	
市立札幌病院	168	26	15.5	175	7	27	44	消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、精神科、小児科、 新生児内科、外科、整形外科、呼吸器外科、心臓血管外科、 泌尿器科、産婦人科、眼科、麻酔科、病理診断科、
医療法人浜仁会 手稲浜仁 会病院	252	99	39.3	252	0	0	15	
J A 北海道厚生連 札幌厚 生病院	118	80	67.8	126	8	13	19	血液内科、消化器内科、小児科、整形外科、泌尿器科、眼科、 麻酔科、健康管理科
K K R 札幌医療センター	101	46	45.5	—	—	—	5	定数なし
社会医療法人恵佑会札幌病 院	46	43	93.5	51	5	5	30	外科・消化器外科、消化器内科、泌尿器科、病理診断科
斗南病院	102	53	52.0	—	—	—	33	定数なし
砂川市立病院	90	31	34.4	99	9	13	3	消化器内科、総合診療科、リウマチ、糖尿病、乳腺外科、緩和ケア外科、整 形外科、放射線診断科、麻酔科、救急科
小樽市立病院	69	25	36.2	69	0	0	11	
社会医療法人母恋 日鋼記 念病院	36	19	52.8	86	50	50	104	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科、緩和ケア科、外科、 整形外科、形成外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 泌尿器科、麻酔科、リハビリテーションセンター、歯科口腔外科、 小児外科、心臓血管外科、皮膚科、精神科、脳神経外科
医療法人 王子総合病院	78	40	51.3	90	12	12	100	内科、消化器内科・腫瘍内科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、 皮膚科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、放射線診断科
J A 北海道厚生連 旭川厚 生病院	97	63	64.9	117	20	22	16	循環器科、消化器科、小児科、外科、呼吸器外科、産婦人科、 形成外科、泌尿器科、精神科、麻酔科、放射線科、核医学、緩和ケア科
市立旭川病院	78	23	29.5	82	4	4	3	外科、整形外科
北見赤十字病院	98	47	48.0	109	11	11	2	内科、泌尿器科、産婦人科、眼科、放射線科、麻酔科、消化器内科、 緩和ケア内科
J A 北海道厚生連 帯広厚 生病院	127	64	50.4	129	2	8	9	外科、脳神経外科、小児科、整形外科、皮膚科、麻酔科、呼吸器外科
市立釧路総合病院	92	26	28.3	90	-2	14	5	消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、眼科、救急科、検査科
独立行政法人労働者健康安 全機構釧路労災病院	50	4	8.0	62	12	13	1	内科、循環器内科、緩和ケア内科、外科、脳神経外科、眼科、 耳鼻咽喉科、リハ科、放射線科、病理診断科、医療相談
計	1,921	883	46.0	1,882	164	224	408	

令和 6 年 4 月 1 日現在 1,809 778 43.0 1,982 177 240 353

※ 不足医師数「実数 C」は、在籍医師数が医師定数を上回る診療科分を相殺せずに集計したもの。

病 院 名	医師派遣に関する意見・要望等（制度上の問題など様々な観点からの意見等）
KKR札幌医療センター	医師の高齢化が進み、医局も人材不足のため、あるいは、医局が存在しないために後継に課題を要する科がある。 （外科乳腺、緩和ケアなど）
斗南病院	医局人事だけでは人員が充足しないため、不足分は公募や人材紹介会社に頼っている状況にある。 （特に消化器内科、腫瘍内科）
日鋼記念病院	医師不足・偏在問題が北海道のがん診療における大きな課題であると考えております。
市立旭川病院	「診療医師数の不足実態」の補足となりますが、現在標榜していない緩和ケア科の医師について、現在募集しておりますが、確保に至らず不足している状態です。医師の確保ができれば、当該診療科を標榜したいと考えております。 また、外科については、呼吸器外科の医師が不足している状態です。
北見赤十字病院	・緩和ケア医は常勤が1名で対応している。 ・呼吸器領域（肺がん）は道立北見病院の専門医と連携して診療を行っている。 ・乳腺領域（乳がん）の診療に従事する医師が不足している。 ・遺伝専門医がいない。 ・リハビリ専門医がいない。 ・医師の働き方改革により、実働医師が減るため、そもそもの定員の再検討が必要である。

がん診療連携拠点病院における診療医師数 2 ヶ年の比較

病 院 名	令和 6 年 4 月 1 日現在 (D)				令和7年 4 月 1 日現在 (E)				2 ヶ年の比較 (E - D)			
	在籍医師数			非常勤等医 師数	在籍医師数			非常勤等医 師数	在籍医師数			非常勤等医 師数
	A	がん診療 医師数B (内数)	占有率 (B/A) ×100		A	がん診療 医師数B (内数)	占有率 (B/A) ×100		A	がん診療 医師数B (内数)	占有率 (B/A) ×100	
独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	80	80	100.0	8	90	90	100.0	2	10	10	0.0	-6
市立函館病院	105	47	44.8	3	106	46	43.4	0	1	-1	-1.4	-3
社会福祉法人函館厚生院函 館五稜郭病院	120	55	45.8	7	123	58	47.2	6	3	3	1.3	-1
市立札幌病院	168	25	14.9	43	168	26	15.5	44	0	1	0.6	1
医療法人溪仁会 手稲溪仁 会病院	246	62	25.2	10	252	99	39.3	15	6	37	14.1	5
J A 北海道厚生連 札幌厚 生病院	118	79	66.9	16	118	80	67.8	19	0	1	0.8	3
K K R 札幌医療センター	99	42	42.4	4	101	46	45.5	5	2	4	3.1	1
社会医療法人恵佑会札幌病 院	47	46	97.9	26	46	43	93.5	30	-1	-3	-4.4	4
斗南病院	—	—	—	—	102	53	52.0	33	—	—	—	—
砂川市立病院	84	26	31.0	3	90	31	34.4	3	6	5	3.5	0
小樽市立病院	65	24	36.9	10	69	25	36.2	11	4	1	-0.7	1
社会医療法人母恋 日鋼記 念病院	40	22	55.0	79	36	19	52.8	104	-4	-3	-2.2	25
医療法人 王子総合病院	72	34	47.2	106	78	40	51.3	100	6	6	4.1	-6
J A 北海道厚生連 旭川厚 生病院	105	64	61.0	17	97	63	64.9	16	-8	-1	4.0	-1
市立旭川病院	79	25	31.6	3	78	23	29.5	3	-1	-2	-2.2	0
北見赤十字病院	102	50	49.0	3	98	47	48.0	2	-4	-3	-1.1	-1
J A 北海道厚生連 帯広厚 生病院	134	67	50.0	10	127	64	50.4	9	-7	-3	0.4	-1
市立釧路総合病院	95	26	27.4	4	92	26	28.3	5	-3	0	0.9	1
独立行政法人労働者健康安 全機構釧路労災病院	50	4	8.0	1	50	4	8.0	1	0	0	0.0	0
計	1,809	778	43.0	353	1,921	883	46.0	408	112	105	3.0	55